

# 財政事情から見る菊川市

## 1 平成27年度決算

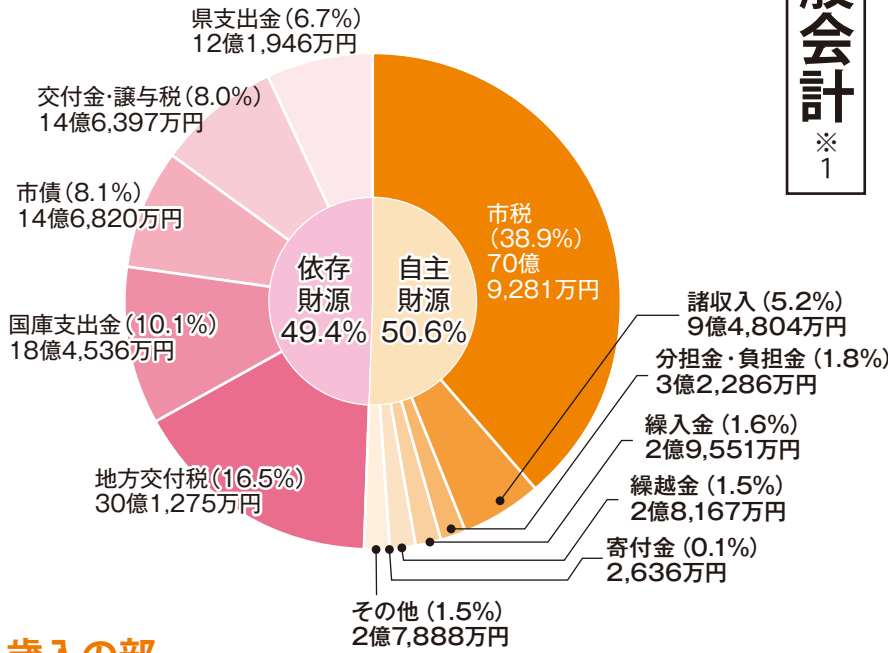
市にどのようなお金が入ってきて、どのように使ったかをまとめた「まちの家計簿」である決算。平成27年度菊川市の各会計の決算がまとまり、9月定例議会で審議・認定されました。皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのか、決算のあらましをお知らせします。

問い合わせ 財政課財政係(☎3510922)

### 一般会計 ※1

歳入額 182億5,587万円

(前年度比+1,705万円/+0.1%)



### 歳入の部 ( )書きは対前年度比

平成27年度の一般会計の歳入は、市税など自主財源が92億4,613万円(構成比50.6%) (3.1%減)、国や県などに頼った依存財源が90億974万円(構成比49.4%) (3.6%増)となりました。

歳入の内訳をみると、地方消費税交付金が消費税増税に伴い3億6,382万円の増額(64.9%増)、県支出金が1億7,199万円の増額(16.4%増)となった一方で、繰入金は基金充当事業が減少し取り崩しが減となったことにより3億6,377万円の減額(55.2%減)、地方交付税が1億9,230万円の減額(6.0%減)となりました。

### 市税の内訳

市税は前年度比0.5%減の70億9,281万円となりました。これは、税制改正の影響による法人市民税の減額やたばこ需要の減少に伴う市たばこ税の減額などによるものです。

種別	決算額
市民税	28億5,101万円
固定資産税	34億9,730万円
軽自動車税	1億2,484万円
市町村たばこ税	2億9,734万円
都市計画税	3億2,232万円
合計	70億9,281万円

### 都市計画税の内訳

市の都市計画税収入額は、3億2,232万円でした。都市計画税は、都市計画法に基づき行われる事業(道路整備など)の財源の一部として活用されています。27年度は以下の事業に使われました。

事業区分	事業費	財源内訳	
		特定財源	一般財源
土地区画整理費	7,855万円	—	7,855万円
下水道費(下水道事業への繰入金)	2億6,479万円	—	2億6,479万円
都市計画事業債元利償還金	4億652万円	—	4億652万円
合計	7億4,986万円	—	7億4,986万円

## 公営企業会計

公営企業会計は地方公営企業法の適用を受け、利用者からの料金などによって公共の利益を目的に経営する事業の会計で、菊川市には水道事業会計と病院事業会計があります。

会計区分	歳入	歳出	
病院	収益的収支	53億3,151万円	54億4,405万円
	資本的収支	6億4,682万円	9億228万円
水道	収益的収支	13億4,330万円	12億5,785万円
	資本的収支	5,601万円	4億850万円

収益的収支: 営業活動に伴う収支

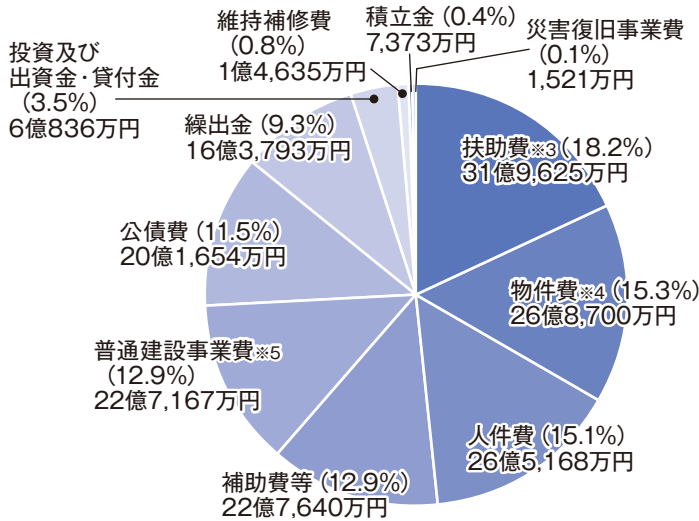
資本的収支: 施設建設・機器購入など、公営企業の資本に関する収支

## 特別会計

特別会計は、国民健康保険や下水道事業など特定の事業を行う場合、一般会計とは区分して処理するもので、菊川市には5つの特別会計があります。

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	55億6,623万円	53億93万円
介護保険	33億883万円	32億3,734万円
後期高齢者医療	3億7,081万円	3億6,958万円
土地取得	1万円	1万円
下水道事業	9億1,471万円	9億1,289万円

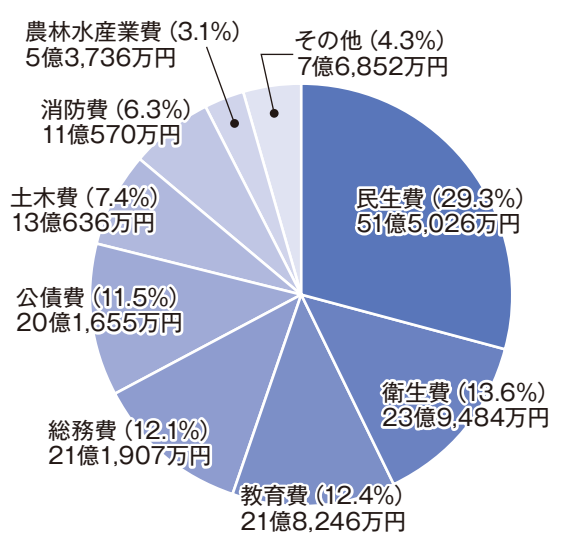
# 歳出額 175億8,112万円 (前年度比▲1億603万円/▲0.6%)



性質別グラフ

歳出の性質に着目して分類したグラフです。経常的経費※2は129億7,421万円〔構成比73.8%〕で、子ども子育て新制度に伴う保育所運営費の増などにより扶助費が1億871万円の増(3.5%増)、小中学校へタブレット端末導入費の増などにより物件費※4が1億4,697万円の増(5.8%増)となった一方、合併後に集中的に行ってきた大型の建設事業費が減となったことにより普通建設事業費※5が3億7,589万円の減(14.2%減)、また、近年借入を抑制してきたことにより公債費が4,111万円の減(2.0%減)となりました。

- ※1 一般会計：市が自由に用途を決めることができる市税や地方交付税などを財源に、福祉や教育などの行政サービスを行う会計
- ※2 経常的経費：任意に削減できない硬直性が強い経費。人件費、扶助費、公債費、物件費、維持補修費および補助費など
- ※3 扶助費：社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などの支援に要する経費、生活保護費など
- ※4 物件費：物品の購入費や光熱水費、施設の管理運営委託費などの消費的な支出に係る経費
- ※5 普通建設事業費：道路、橋りょう、学校、公園など各種社会資本の新增設事業を行う際に要する経費



目的別グラフ

行政の目的に着目して分類したグラフです。放射線防護のための設備設置及び施設改修事業などに伴い、消防費が1億2,078万円の増(12.3%増)、六郷小学校体育館整備事業などに伴い教育費が9,245万円の増(4.4%増)となった一方、平成26年度に赤土嶺田線や市道嶺田川上線の整備が完了したことなどに伴い、土木費が3億3,857万円の減(20.6%減)となりました。

## こんなことにお金を使いました～取り組み別歳出状況～

### 「魅力」を高めるための取り組み

- 子どもたちが輝き 笑顔いっぱいのもち
  - ① 切れ目のない子ども・子育て支援
    - ・放課後児童クラブ運営事業 3,946万円
    - ・園舎整備等補助費(民間保育所の大規模修繕の補助等) 4,093万円
  - ② 学校教育の充実
    - ・土曜教育活動推進事業 43万円
    - ・小中学校施設整備工事費(ICT教育普及向上のための無線LAN環境整備) 3,351万円
    - ・小中学校OA機器購入事業(ICT普及向上のためiPadを各小中学校へ整備など) 7,819万円
  - ③ 「元気・魅力」の発信
    - ・菊川市「元気・魅力」発信事業(菊川市PR用広告費) 200万円

### 「安心」を高めるための取り組み

- 安全で快適に暮らせるまち
  - ① 災害に備えるまちづくり
    - ・同報無線デジタル化整備事業 1億4,927万円
    - ・建築物耐震改修促進事業費 250万円
    - ・小中学校校舎耐震補強事業(堀之内小、横地小、菊川東中耐震補強事業) 2,607万円
  - ② 消防体制の強化
    - ・消防団蔵置所建設事業 5,535万円
  - いつまでも 元気に暮らせるまち
    - ① 市民一人ひとりの健康づくりの実現
      - ・健康マイレージ事業 189万円
    - ② 地域医療体制の充実と包括的な取り組み
      - ・菊川病院運営事業(一般会計繰出金) 9億円

### 「活力」を高めるための取り組み

- にぎわいと 活気にあふれるまち
  - ① 農業・菊川茶の振興
    - ・地域特産物推進事業(特産作物の生産を増やすための支援) 88万円
  - ② 商工業・観光の振興
    - ・交流・定住促進事業 300万円
  - ③ 社会基盤整備の推進
    - ・市道赤土高橋線整備事業(掛川浜岡線バイパス) 4,728万円
  - 市民と行政が共に歩むまち
    - ① 市民活動の推進
      - ・内田地区センター整備事業 4,346万円
    - ② 未来を担う多様な人材づくり
      - ・放課後子ども教室推進事業 286万円
    - ③ 市民と創る住みよい環境の整備
      - ・一般廃棄物処理基本計画策定事業 268万円

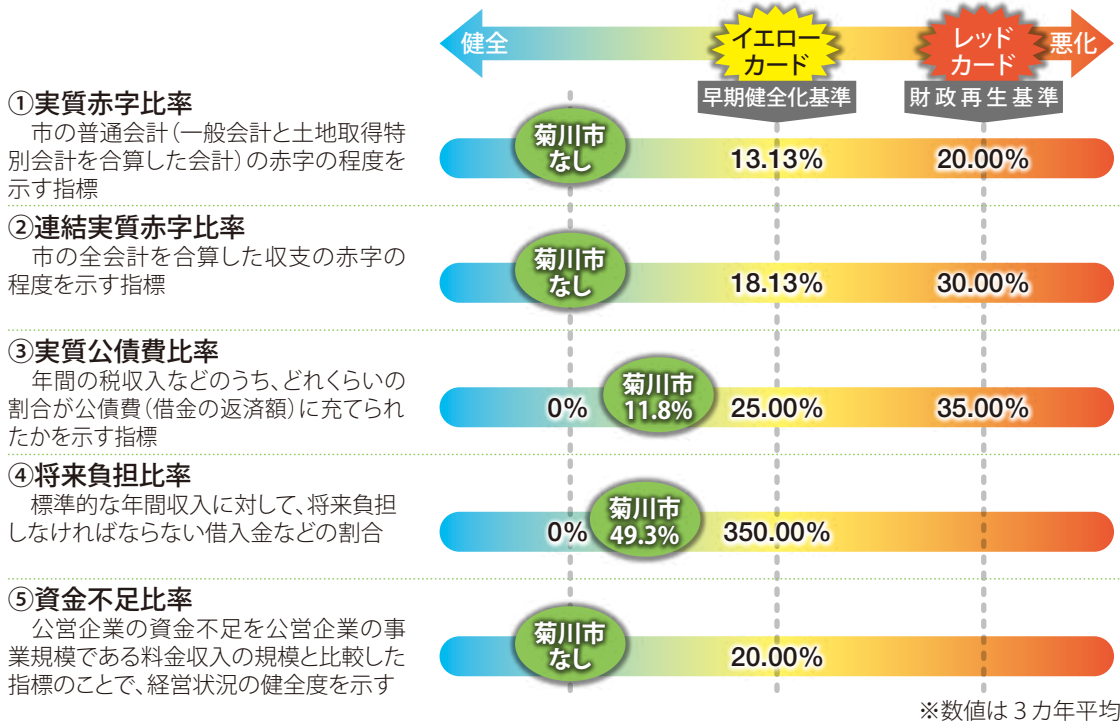
## 2 菊川市の財政状況

平成27年度決算による菊川市の財政状況をお知らせいたします。法律に基づいて算定した「健全化判断比率」や市債(借入金)の状況などについて詳しく説明します。

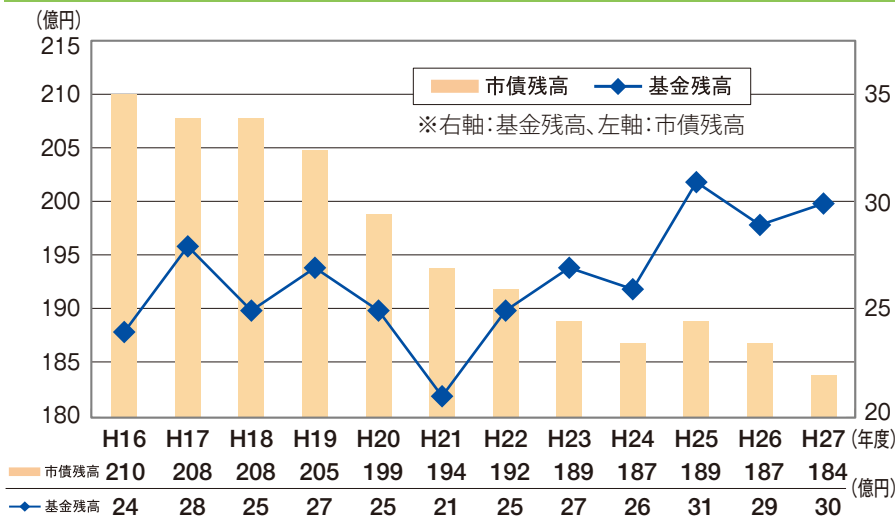
### 財政の健全性を示す5つの指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく5つの指標を使ってチェックしたものが下の表です。「早期健全化基準」を超えると、市が健全化計画を立てて自分たちで改善努力をする必要があり、「財政再生基準」を超えると市が再生計画を策定して国などの関与によって再生を目指す必要があります。

菊川市は、引き続き健全と判断される範囲内です。



### 一般会計における市債残高と基金の推移



一般会計の市債(借入金)の推移をみると、市債残高は平成27年度末でおよそ183億7,240万円。前年度に比べて2億8,471万円減少しました。一方、基金(貯金)の残高は、29億8,116万円と前年度に比べ6,054万円増加しました。

合併以後、市債残高は減少し、基金残高は平成22年度以降増加に転じています。これは、市債の返済が基金の取り崩しによるものでないことを示し、公債費負担適正化計画策定以後、歳入に見合った財政運営と公債費の抑制に努めてきた結果といえます。

### 市債残高

会計区分		市債残高
一般会計		183億7,240万円
特別会計	下水道	46億8,154万円
公営企業会計	病院	54億7,944万円
	水道	19億6,542万円
合計		304億9,880万円

※上記市債のうち、約194億円は将来的に普通交付税による補てんが約束されています。

### 基金残高

会計区分		基金残高
一般会計		29億8,116万円
特別会計	土地取得	3,856万円
	国民健康保険	1億8,640万円
	介護保険	7,877万円
合計		32億8,489万円

# 菊川市の家計簿 ～市民1人当たりの決算額～

平成27年度決算額を市民の皆さん1人当たりの家計簿に置き換えました。給料や生活費、借入れなど皆さんの生活に関わりのある言葉に換えていますので、イメージしてみてください。※あくまでイメージです。

## 収入 市民1人当たりの収入額

①給料(市税・分担金・負担金など)	15万8,718円
②不動産収入・利子(財産収入・諸収入など)	2万2,554円
③預金引き出し(繰入金)	6,179円
④繰越金(繰越金)	5,890円
<b>小計(A) 自主財源</b>	<b>19万3,341円</b>
⑤親からの援助(国県支出金・交付金など)	15万7,696円
⑥借入れ(市債)	3万 701円
<b>小計(B) 依存財源</b>	<b>18万8,397円</b>
<b>収入合計(A) + (B)</b>	<b>38万1,738円</b>

## 支出 市民1人当たりの支出額

①生活費(人件費・物件費・補助費など)	15万9,234円
②医療費(扶助費)	6万6,835円
③借金の返済(公債費)	4万2,167円
④子どもや親戚への仕送り(繰出金)	4万6,971円
⑤家や車の修理費(維持補修費)	3,060円
⑥家の増・改築費用(普通建設事業費)	4万7,820円
⑦預金(積立金)	1,542円
<b>支出合計①～⑦</b>	<b>36万7,629円</b>

※平成28年3月末現在の総人口4万7,823人で算出しています。

## 平成28年度上半期予算の執行状況

市では、地方自治法第243条の3および市の条例に基づき、「市の財政状況」を公表します。ここでは、平成28年度の予算(前年度からの繰越分を含む)について、9月30日現在の執行状況をお知らせします。

### 一般会計の主な項目の予算額、収入済額および支出済額

歳入	予算額	収入済額	執行率	歳出	予算額	支出済額	執行率
市税	70億2,925万円	36億8,441万円	52.4%	民生費	54億6,211万円	22億4,705万円	41.1%
国・県支出金	35億9,712万円	7億4,023万円	20.6%	衛生費	25億5,020万円	14億8,505万円	58.2%
地方交付税	27億4,957万円	18億2,604万円	66.4%	総務費	25億2,736万円	9億8,873万円	39.1%
市債	20億5,230万円	0円	0.0%	教育費	24億7,753万円	8億6,675万円	35.0%
諸収入	9億1,324万円	2億6,216万円	28.7%	公債費	20億8,552万円	10億4,126万円	49.9%
その他	28億7,738万円	13億7,820万円	47.9%	その他	41億1,614万円	17億1,512万円	41.7%
合計	192億1,886万円	78億9,105万円	41.1%	合計	192億1,886万円	83億4,396万円	43.4%

### 特別会計

会計区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	53億7,111万円	22億6,243万円	22億2,427万円
後期高齢者医療	3億8,627万円	1億2,991万円	8,213万円
介護保険	34億6,568万円	15億9,530万円	13億1,159万円
土地取得	1万円	0円	0円
下水道事業	8億5,507万円	4億3,210万円	3億1,316万円

### 公営企業会計

会計区分	収入		支出		
	予算	収入済額	予算	支出済額	
水道	収益的収支	14億7,078万円	4億9,859万円	13億9,254万円	3億5,287万円
	資本的収支	1億 86万円	1,026万円	4億9,568万円	9,968万円
病院	収益的収支	56億 395万円	25億7,993万円	56億 395万円	26億4,603万円
	資本的収支	6億1,351万円	1億1,641万円	8億5,182万円	2億7,485万円

※金額は1万円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。